Ⅱ．重要な債務負担行為　（単位：千円）

件　　名	契約済額	平成29年度以降支出予定額	平成28年度支出額
東京藝術大学Ueno Global Residence整備事業	239,999	239,999	—
東京藝術大学図書館改修設計業務（建築・建築設備一式）	20,088	14,088	6,000

Ⅲ．重要な後発事象

該当ありません。

Ⅳ．貸借対照表関係

１．運営費交付金から充当されるべき賞与引当金の見積額は、233,607千円であります。

２．運営費交付金から充当されるべき退職給付引当金の見積額は、2,058,297千円であります。

Ⅴ．キャッシュ・フロー計算書関係

１．資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金勘定	3,628,963千円
△定期預金	△　40,113千円
資金期末残高	3,588,849千円

２．重要な非資金取引

寄附受による資産の取得	56,909千円
（うち美術品・収蔵品）	(39,750千円)

Ⅵ．国立大学法人等業務実施コスト計算書関係

１．資産見返運営費交付金等戻入の控除額は、資産見返運営費交付金等戻入のうち授業料を財源とするものであります。

２．国又は地方公共団体からの出向職員に係る引当外退職給付増加見積額は53,910千円であります。

Ⅶ．減損会計関係

減損の兆候が認められた固定資産

減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

用　途	種　類	帳　簿　価　額	場　所
電話加入権	電話加入権	646千円	東京都台東区

①　減損の兆候の概要

固定資産の市場価格（相続税評価額）が著しく下落したため。

㈱　減損を認識しないとした根拠については以下のとおりであります。

※１　回収可能サービス価額が、当該資産の帳簿価額以上であるため。

減損の認識をした固定資産

⑴　外国人教員宿舎

用　途	種　類	帳　簿　価　額		場　所
外国人教員宿舎	土地	462,500千円	465,477千円	東京都文京区
	構築物	35千円		
	建物	2,942千円		

①　減損の認識に至った経緯

新たな宿舎を整備するために、現有の土地及び建物を売却することを決定し、事業年度末時点で使用していなかったため。

②　回収可能サービス価格

売却価値相当額を採用した。

③　算定方法の概要

平成29年３月に実施した外国人教員宿舎売却の入札における入札額を元に算出した。

④　減損の認識及び測定について

帳　簿　価　額	売却価値相当額	減　損　額
465,477千円	755,000千円	0千円

⑵　那須高原研修施設

用　途	種　類	帳簿価額（10月時点）		場　所
那須高原研修施設	土地	63,300千円	103,154千円	栃木県那須郡
	構築物	886千円		
	建物	33,990千円		
	建物附属設備	217千円		
	その他の無形固定資産	4,760千円		

①　減損の認識に至った経緯

東京芸術大学の那須高原研修施設は、建築年1982年（Ｓ57年）と築34年が経過しており、老朽化が著しいことから大規模な改修が必要とされていたが、財政状況を鑑みると大規模改修は困難であり、また、今後の保守管理費等の維持管理費についても高額であった。

さらに、稼働率の低下も著しく、維持管理費を賄うだけの収入を確保できない状況であることに加え、課外活動をはじめとした学生生活スタイルの変容により研修施設への期待やニーズも低下していることから、那須高原研修施設を閉鎖することとした。

②　回収可能サービス価額

売却価値相当額を採用した。

③　算定方法の概要

土地に関しては状況類似地区の路線価を元に算出し、その他の資産については備忘価額とする。